

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	スパークとよおか			
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 20 日 ～ 2025 年 12 月 25 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	2025 年 12 月 10 日 ～ 2025 年 12 月 25 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 20 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	- こどもの「こころ」に着目し、自由な遊びの中で心身の発達を促す療育を提供している。 （脳と感情の発達で特性を緩和することができる）	- 子どもの「行動」ではなく「こころ」に働きかけるアプローチを意識している - 子どもの感覚や感情に共感し、一緒に喜んだり褒めの声掛けを行うことを意識して行っている - 子どもと一緒に思い切り身体を動かして遊ぶ療育を行っている - 自然を生かしたフィールド療育(山、水遊び、雪遊び)を行っている - ストレスが軽減できるような関わりをする	- 豊かな発想で創造的な遊びを発信していく - 保護者と良好な関係を築き、フィールド療育について理解していただく - 季節感を感じられるようなイベントを増やす。（節分、ハロウィン、クリスマス等）

2	・子どもの発達段階に合わせた療育を行っている ・療育士と1対1で密に関わることができるため、より子どもの変化や今後の課題を見つかることができる	・こども一人一人の性格、特性、発達段階に合わせて提供する遊びを考えたり、関わり方を変えたりしている ・子どものやりたい遊びから興味を広げる ・どんな細かいことでもとにかく褒める ・他児との関わりを持つために、他児への興味が持てるような声掛けをする	・他療育士が行った療育についてもっと細かく話を聞き、情報を共有することで、様々な角度、視点からのアセスメントをとる ・療育士からだけでなく、保護者様からご家庭や園での様子をお聞きし、様々な様子から発達段階を把握する
3	・スパーク協会という母体があり、新人研修やスキルアップ、OJT研修を行う機会がある	・スパークの運動療育は、クリエイティブなスキルが必要なため、独自の研修を行っている	・引き続き定期的にスキルアップのための研修を受ける ・お子様への関わりに悩んだ際には協会からのアドバイスを積極的に受ける

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎を行っていないため、通うことが難しい方もいる ・1時間と決まっているため、長く預けたい保護者にとっては弱みになってしまう	・1時間の療育のため、送迎を行うことが難しい ・運動を主とした療育のため、体力的に長時間行うことが難しい	・保護者と良好な関係を築き、スパークの療育を理解していただくことで送迎を行わない理由を理解していただく ・1時間でも預けたいと思っていただけるような質の良い療育を提供できるようにする
2			
3			